

「令和4年度下水道管路管理セミナー」開催案内

公益社団法人 日本下水道管路管理業協会

1. 開催主旨

当協会では、毎年管路管理セミナーとして、管路管理に係る時宜に合ったテーマに関して、専門家や実務者から講演をいただいております。

今年のテーマは、「流域における浸水対策」です。

近年、地球温暖化の影響等により、時間雨量 50mm を超える短時間強雨の発生件数が増加し、水害の更なる頻発・激甚化が懸念されています。水害を防ぐためには、浸水対策が必要になりますが、過去の降雨実績に基づいた施設整備だけでは、実質的な安全度を確保できない状況になってきました。そこで施設整備というハード施設の建設だけでなく、集水域（雨水が河川に流入する地域）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定される地域）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行うという総合的な考えを取り入れて浸水対策を進める必要があります。いわゆる流域治水の考え方です。

今回は、気象庁から近年よく聞かれる線状降水帯について解説していただき、国土交通省から令和3年5月に改正になった流域治水関連法を説明していただいた後、各地方自治体から現場で実践している内容を講演していただく予定です。

これらの講演が全国各地域の浸水対策の一助になる事を願っています。

2. 開催日時：令和4年11月16日（水） 13時30分～（開場：13時00分）

3. 開催場所：東京証券会館8階ホール 東京都中央区日本橋茅場町1-5-8 電話03(3667)9210
※ オンライン配信も予定しています。

4. 講演内容

時間	演題	講演者（敬称略）
13:30～13:35	開会挨拶	当協会会長 長谷川 健司
13:35～14:05	集中豪雨と線状降水帯	気象庁気象研究所 台風・災害気象研究部長 加藤 輝之
14:05～14:35	「流域治水」と下水道による浸水対策の推進	国土交通省 水管理・国土保全局下水道部 流域管理官付課長補佐 橋本 翼
14:35～15:05	雨水流出抑制に資するグリーンインフラの取組みについて	横浜市 環境創造局政策調整部政策課 下水道政策調整担当係長 近藤 太一
15:05～15:20	休憩	
15:20～15:50	鹿児島市が実施した低地区総合浸水対策緊急事業の効果と今後の取組について	鹿児島市 水道局下水道部 雨水整備室長 大庭 義文
15:50～16:20	水田の有する多面的機能を活用した「田んぼダム」	一般社団法人 農村振興センターみつけ 事務局長 椿 一雅
16:20～16:25	閉会	当協会専務理事 井上 茂治

5. 参加申込 : 11月9日(水)までに当協会ホームページ (<https://www.jascoma.com>) よりオンライン申込フォームにてお申込み下さい。
※ 定員(150名)になり次第締め切りとなります。
6. 参加費 : 無料
7. 継続学習 : (一社)全国土木施工管理技士会連合会に、本セミナーの学習プログラム認定(CPDS)を申請予定です。プログラム認定されない場合は受講証明書を発行しませんのでご了承ください。
8. 来場される方への新型コロナウイルス感染症対策のお願い
(1) 会場内でのマスクの着用、検温および手指の消毒にご協力ください。
(2) 検温の結果、体温が37.5℃以上の場合、聴講をお断りいたしますのでご了承ください。
9. 問合せ先 : 公益社団法人日本下水道管路管理業協会 試験・研修部
電話 03(3865)3575